



「今日が楽しく明日が待たれる学校」



## よりあひて真すぐに立てる青竹の藪のふかみに 鶯の啼く 牧水

大正7年2月、牧水が静岡県の温泉で執筆をしていた頃に詠んだ歌です。まっすぐに立っている青竹の林、その奥ではや鳴いている鶯の声。まだ春ともいえぬ季節に、花のない竹林で鳴いている鶯に牧水は心動かされたのです。

### 新型コロナウイルス感染症の対応について

新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大によって、現在、授業や部活動、学校の行事等が制限されている状況です。県内全体で厳しい状況が続く中、1月末の私立高校の入試や2月2日の県立高等学校推薦入試、県立高等水産研究所の入試などが予定どおり行われたことに安堵しています。受験生の保護者の皆様もほっとされたことと思います。今後も、油断できない状況が続くと思いますので、引き続きお子様の健康チェックや欠席連絡等のご協力をお願いいたします。

ところで、厚生労働省の通知や保健所の助言等を受けて、日南市教育委員会から【改訂版】新型コロナウイルス感染症に係る学校の対応」が出ましたので、主な改定内容をお伝えします。

- PCR検査を受検した親族等と同居している生徒は、出席停止となります。  
同居者のPCR検査の結果が陰性の場合は、登校できます。  
陽性の場合は、保健所や医師の指示に従ってください。
- 濃厚接触者に特定された場合は、保健所の指示に従い自宅待機（出席停止）による経過観察となります。経過観察の期間は、7日間程度です。



### YOASOBI「群青」は、油津中学校の応援歌♪♪

2月4日(金)に予定していた参観日は、やむを得ず中止の判断をさせていただきましたが、同日に予定していた生徒と職員による2年生の立志式は、延期の方向で検討しています。

ところで、立志式の中で、私が話題にしようと考えていたのがYOASOBIの「群青」です。2021年NHK紅白歌合戦で、群青色を纏ったダンスパフォーマーの中で熱唱された「群青」に魅了されたことがきっかけです。迷いや不安を抱えながらも夢を追っている人の背中を押してくれる歌詞がアップテンポな曲とともに心に響き、すぐにファンになりました。

この曲は、「マンガ大賞 2020」で大賞を受賞している山口つばさんの漫画『ブルーピリオド』という作品が原作です。「群青」の歌詞には、無難な日常を捨てて「好きなもの」を必死に追いかける主人公の心の変化や決意が描かれています。「好きなことを続けること それは「楽しい」だけじゃない」「積み上げてきたことが武器になる」というフレーズが、私には、特に印象に残りました。夢の実現は、努力の延長上にあると思うからです。



「群青」の歌詞は、アメリカのバスケットボール選手マジック・ジョンソンの言葉とも重なります。彼は、著書『MY Life』の中で、「きみの人生を変えることができるるのは、きみだけだ。きみの夢が何であれ、それに向かっていくんだ。きみは幸せになるために生まれてきたんだから。」と語っています。「自分の人生におこるできごとを他人のせいにしてはいけない。自分の人生に責任をとれるのは自分だけ。だからこそ、自由に自分の夢を追うことができる。」とも。

「群青」とは、やや紫みを帯びた鮮やかな青色のことですが、本校の校歌の「縁なる南の国」「縁なる南の海」「縁なる南の空」の色も「群青色」なのではないかと思えてきました。

そして、志を高くもって学校生活を送っている本校の生徒の応援歌にも聞こえてきました。

## PTA新聞今年も県1位に！～第42回宮崎県小・中学校PTA新聞コンクール～

昨年度に続いて、今年もPTA新聞が宮崎県1位になりました。

先日、本校のPTA新聞「雀八重」が、第42回宮崎県小・中学校PTA新聞コンクール最優秀賞に選ばれたとの通知が届きました。

県の生涯学習課・県秘書広報課・毎日新聞宮崎支局・県PTA連合会の四者による厳正な合同審査の結果です。各部署で活躍中のプロとも言える審査員の方々から高評価をいただいたことになります。

2学期の終業の日、PTA新聞を手に取った瞬間、凜とした中にも揺るぎない闘志を感じさせる生徒の表情を捉えた表紙の写真が目に飛び込んできることを思い出します。写真に添えられた「コロナになんて、負けなかった僕らの夏。」という言葉も新鮮で、生徒が「赤」「青」に分かれて熱い戦いを繰り広げた体育大会の感動が蘇ってきました。



ページをめくると、躍動感のある行事の写真や読み応えのある豊富な記事の数々。広報誌を読んだ誰もがPTA新聞の今年の入賞を予感したことでしょう。

取材や写真撮影、記事や見出し作成、レイアウトなど、細部にわたってこだわって作成していただいた広報部の方々の熱意に感謝するとともに、コロナ禍にありながら、学校を盛り立ててくださっている保護者の皆様に、心からお礼申し上げます。

## 高校受験は、記念すべき人生の第一歩！～人生の主役は自分自身～

私立高校入試（1/25～27）と県立高校推薦入試・県立高等水産研究所入試（2/2）が終わりました。3年生は、やや緊張した様子でしたが、全力で受験に向き合いました。

高校受験は、子どもが自立して大人になっていくための記念すべき人生の第一歩です。受験にあたっては、将来どのような生き方をしたいかを自分で考え、自分で高校や学科を決めて、自分の力で受験しなければなりません。自分の人生の主役は、自分自身という自覚が高まる時です。来週は、推薦の合格発表、3月8日・9日は、県立高校一般入試となります。

受験後の3年生の反省から、「面接で質問されたこと」「後輩へ伝えたいこと」を紹介します。

### 1 県立高校の推薦入試の面接で質問されたこと

- 志望理由を教えてください。
- あなたの長所や特技は何ですか。
- 中学校で頑張ってきたことは何ですか。
- 日々気を付けていることは何ですか。
- ICTについて、どう取り入れるべきだと思いますか。
- 集団生活を送る上で大切なことは何ですか。
- 高校で新たに挑戦したいことは何ですか。
- 高校卒業後の進路は考えていますか。
- 将来の夢は何ですか。
- 自己PRをしてください。
- 中学校での一番の思い出は何ですか。
- 中学校で成長したことは何ですか。
- 気になったニュースは何ですか。



### 2 面接について後輩へアドバイス

- 本番でとても緊張するので、練習をたくさんした方が良いです。
- 緊張したけど、練習を積み重ねたかいがありました。事前の準備が大事です。
- オープンスクールや体験授業などで高校の先生の顔を覚えておくと、当日安心するかもしれません。面接官の目を見て離すことが一番大切だと思います。
- 緊張すると、日頃のくせが出るので落ち着いて臨むことが大事です。
- 対策を置いていても、意外な質問があります。臨機応変に対応することが大切です。
- 言いたいことをはっきり言って、理由も述べられるようにしておくことが大切です。

### 【3月の主な行事】

- 3月8日（火）・9日（水）県立高校一般入試
- 3月14日（月）～18日（金）いじめアンケート実施
- 3月16日（水）第75回卒業式（※ 給食なし）
- 3月18日（金）県立高校合格発表
- 3月21日（月）祝日：春分の日
- 3月25日（金）修了の日（※ 給食なし）
- 3月26日（土）～4月6日（水）学年末・春季休業期間
- 3月30日（火）離任式（予定 11:00～）



